

大分大学医学部附属病院 皮膚科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

皮膚科専門医取得を前提として、①皮膚科外来診療 (Office dermatology)、②入院治療が必要な重症皮膚疾患や皮膚悪性腫瘍の診断と治療、③皮膚外科、④皮膚病理組織診断に必要な専門知識と技術の習得を目的とする。研修後期では subspecialty を持てるように、関連施設での研修、大学での専門分野の診療に従事する。さらに、当科で実施されている基礎的、臨床的研究に参加することにより、病態生理を深く理解した皮膚科専門医を養育する。

2. 研修目標

【一般目標】

医師としての全般的基本的能力の修練を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・診断・治療技術を習得し、関連領域に関する広い視野をもって診療内容を高める。皮膚科の進歩に積極的に携わり、患者と医師との共同作業としての医療の推進に努める。また医師としてまた皮膚科専門医として、医の倫理の確立に努め、医療情報の開示等社会的要望に応える。

【行動目標】

①知識の活用、②専門医としての技能、③診療に際しての患者をはじめ、同僚・看護師・その他の関係者に接する態度、さらに、家庭や社会に対する配慮など、倫理的な面を含めた態度、の三領域を常に行動目標として認識し、個別の研修目標を達成する。

3. 研修スケジュール

3年目～10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設		大学病院			関連施設	
B	大学病院		関連施設	大学病院		関連施設		
C	大学病院	関連施設	大学院				大学病院	留学
D	大学病院		関連施設		大学院			

4. 評価

学習者が研修内容をどのように習得したかを、指導医によるチェックリストやレポート提出（論文作成）で評価する。さらに、専門医認定試験により評価される。

5. 募集人員

8人

6. 実施責任者

大分大学医学部附属病院 皮膚科 診療科長 藤原作平

7. 指導責任者

大分大学医学部附属病院 皮膚科 診療科長 藤原作平

8. 関連施設、学会認定状況

皮膚科専門医研修認定施設：大分大学医学部附属病院、大分県立病院、別府医療センター

9. その他

初期研修時から日本皮膚科学会に入会した場合は、3年間の後期研修により、専門医試験受験資格を得る。専門医取得後、皮膚悪性腫瘍指導専門医、美容皮膚・レーザー指導専門医などのコースも設けられている。

当教室では①表皮・真皮の構造と機能、②皮膚免疫、③皮膚バリア機能などの基礎的、臨床的研究が行われ、これらを経験することにより、病態生理を深く理解した、皮膚科専門医の育成を目指している。

10. 連絡先

藤原作平

大分大学医学部附属病院皮膚科

Tel: 097-586-5882

Fax: 097-586-5889

e-mail: fujiiwara@oita-u.ac.jp